

02 東国文化の魅力発信

群馬県は、古代において東日本を代表する経済・文化の中心地でした。
全国有数の規模を誇る古墳群や、日本最古の石碑群など歴史文化遺産の“すごさ”を“わかりやすく”伝え、「東国文化＝群馬」のイメージを全国に定着させて誘客促進につなげます。

東国文化の魅力発信

(1) 東国文化周知事業

県内には13,000基を超える古墳群があります。旧石器時代に日本に人が住んでいたことを明らかにした「岩宿遺跡」や、東日本最大の「太田天神山古墳」、埴輪としては唯一の国宝である「挂甲武人埴輪」(太田市飯塚町出土)などが語るように、古代群馬は東国文化の中心地として大きく栄えていました。

副読本の発行や東国文化自由研究の実施等を通じて、子どもたちに東国文化の価値や魅力を知ってもらうとともに、AR等の先端技術を活用した遺跡の復元、古墳や埴輪のすごさを体感できる機会の提供などにより、東国文化を発信し、誘客促進につなげます。



東国文化の魅力をわかりやすく解説した副読本



岩宿遺跡 (みどり市)



太田天神山古墳 (太田市)



古代東国文化サミット
(創作古代劇)



上野国分寺 (天平衣装行列)

〔主な取組〕

- 中学校での「東国文化副読本」活用による学習支援
- 古墳や遺跡を会場としたイベントの開催
- AR等の先端技術を活用した魅力の発信
- 歴史文化遺産をめぐるツアーの実施
- 観光DMOと連携した誘客促進

(2) 東国古墳文化展示室

東日本随一の副葬品や埴輪が見つかった綿貫観音山古墳の出土品を中心に県立歴史博物館に常設展示し、東国文化の価値や魅力を発信します。

〔主な取組〕

- 東国文化をテーマにした展示
- 東国文化に関する調査研究



東国古墳文化展示室

目標・指標

	平成28年度実績	平成31年度	平成34年度
■ 東国文化の認知度	40.7%	⇒ 80%	⇒ 90%
■ 東国文化副読本を活用する学校の割合	72.6%	⇒ 100%	⇒ 100%

世界の記憶「^{こうずけきんび}上野三碑」の魅力発信

ユネスコ「世界の記憶」への登録を果たした「上野三碑」について、シンポジウムや講演会を通じてその世界的な価値や魅力を発信するとともに、様々な広報媒体を活用した広域的な周知活動を行うことで、県内の歴史文化遺産と連携した観光誘客に活用していきます。



山上碑 多胡碑 金井沢碑



日中韓国際シンポジウム

〔主な取組〕

- 各種広報媒体を活用した県内外への周知
- 県内歴史文化遺産と連携したスタンプラリーの実施
- シンポジウムや講演会の開催

上野三碑 ～1300年前の東アジアの交流を記す日本最古の石碑群～

山上碑、多胡碑、金井沢碑からなる「上野三碑」はいずれも国宝と同格の「特別史跡」であり、中国を起源とする漢字や政治の制度、インドを発生地の地とする仏教が日本に伝来し、東国の群馬県地域にも伝えられて高い文化が育まれたことを示しています。

「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発信

東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産の調査研究を進め、長期的な展望を持って県民、市町村と一体となって必要な整備を進めながら、群馬の魅力を全国に発信します。



群馬県古墳総覧

〔主な取組〕

- 史跡上野国分寺跡整備
- 文化財保存事業費補助特別枠
- 古墳データベースやアプリ等を活用した古墳・金井東裏遺跡情報発信事業
- 史跡上野国分寺跡保護管理運営
- 観音山古墳保護管理運営



古墳王国展（金井東裏遺跡出土品）